

伴東小学校 第6学年家庭科 シラバス

目 標

- (1) 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに、家庭生活への関心を高め、その大切さに気付くようにする。
- (2) 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。
- (3) 自分と家族などとのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。

6年生ではこんな学習をします。

月	学 習 内 容	時数	学 習 の ね ら い
4	1くふうしよう 朝の生活	10	●生活時間を見直し、朝の生活のしかたや、家族とのふれあいの時間を工夫することができるようにする。 ●朝食に合う簡単なおかずを考え計画を立てることができる。
5	2きれいにしようクリーン作戦	5	●いためる調理がわかり、簡単なおかずを作ることができる。
6			●住まい方に関心をもち、工夫して掃除ができる。 ●ごみのしまつや不用品の活用の仕方を工夫し、環境を考えた生活のしかたがわかる。
7	3暑い季節を快適に	8	●すずしい住まい方や衣服の着方に関心をもち、快適に過ごすための工夫ができる。 ●日常着の手入れに関心をもち、気持ちよく着るための手入れができる。 ●洗たくの必要性がわかり、洗たくを工夫して行うことができる。
	4生活を楽しくしようソーイング	10	●布を用いた生活に役立つ物の製作に関心をもち、工夫して製作ができる。
	5くふうしよう楽しい食事	12	●栄養のバランスを考え、1食分の献立を立てることができる。 ●身近な食品を用いて調理計画を立て、簡単なおかずを作ることができる。 ●日常の食事の大切さに気づき、楽しく食事をしようとする。
9	◆チャレンジコーナー 6考えようこれからの生活	—	●学習したことを家庭生活に生かす。
10		9	●自分の身近な人びとの生活や環境とのかかわりに気づき、快適な生活のしかたを工夫することができる。
11			●近隣の人びととのかかわりについて考え、気持ちの伝え方が工夫できる。
12			●地域で快適に生活するための工夫について考え、実践しようとする態度を養う。
1	成長したわたしたち	1	●2年間の学習をふり返り、自分の成長を自覚し、よりよい生活のしかたをけいぞくしようすることができる。

ねらいに到達しているかどうか主に次の観点と方法で評価します。

家庭生活への関心・意欲・態度

授業での態度、製作・実習に取り組む様子、提出物、ノートやプリントの記述内容などから 評価します。

生活を創意工夫する能力

テスト、発表の内容、作品、ノートやプリントの記述内容などから評価します。

生活の技能

テスト、作品、実習の様子、ノートやプリントの記述内容などから評価します。

家庭生活についての知識・理解

テスト、発表の内容、プリントやノートなどの記述内容から評価します。